

第 6 次松山市総合計画 後期基本計画策定方針

平成 29 年 6 月

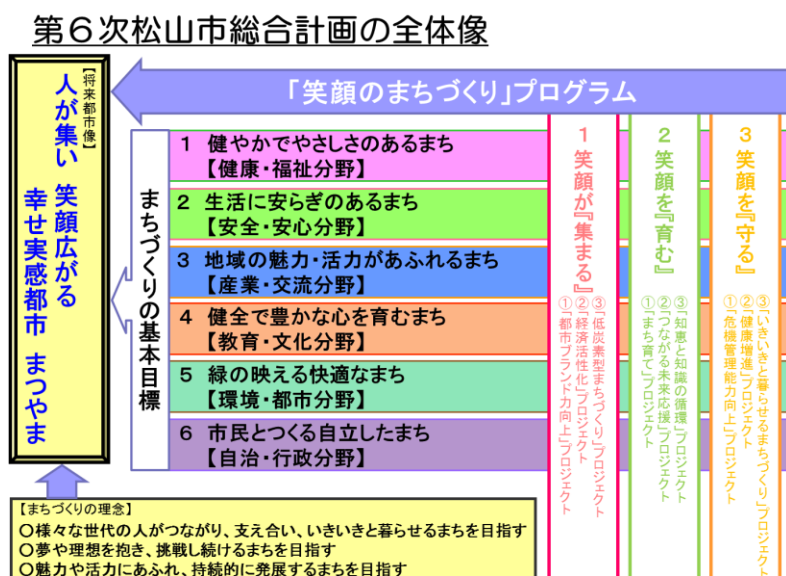
松山市

1. 計画策定の背景

総合計画は、市町村が目指す将来像（都市像）とそれを具現化する基本方針等を定めるまちづくりの根幹となる計画であり、市民と行政との共通の指針となるものである。

第6次総合計画では、社会経済情勢の変化を捉えた施策の推進が図られるよう、基本計画の計画期間を5年間としていた。

前期基本計画の計画期間が平成29年度末となっていることから、新たに平成30年度から5年間を計画期間とする後期基本計画を策定するものである。



2. 基本方針

- ①前期基本計画の進捗状況を踏まえ、基本構想の実現に向けた具体的施策を示すものとする。
- ②現在の本市を取り巻く社会環境を適切に捉えるとともに、「松山創生人口100年ビジョン先駆け戦略」との整合性を図る。
- ③連携中枢都市圏及び愛媛県の県都としての広域的視点に加えて、今後検討が想定される新たな制度についても考慮したものとする。
- ④国・県等の構想や長期計画との整合性に配慮するとともに、現在の市の基本政策を考慮したものとする。
- ⑤広く市民の意見を取り入れる機会を設け、市民参加を推進する。
- ⑥後期基本計画の改定に応じた、実施計画の見直しを行う。

3. 計画の構成について

①基本構想 【改定なし】

将来都市像やまちづくりの基本目標を定めたものであり、10年間の計画期間の根幹を為すものである。

②基本計画 【後期基本計画策定】

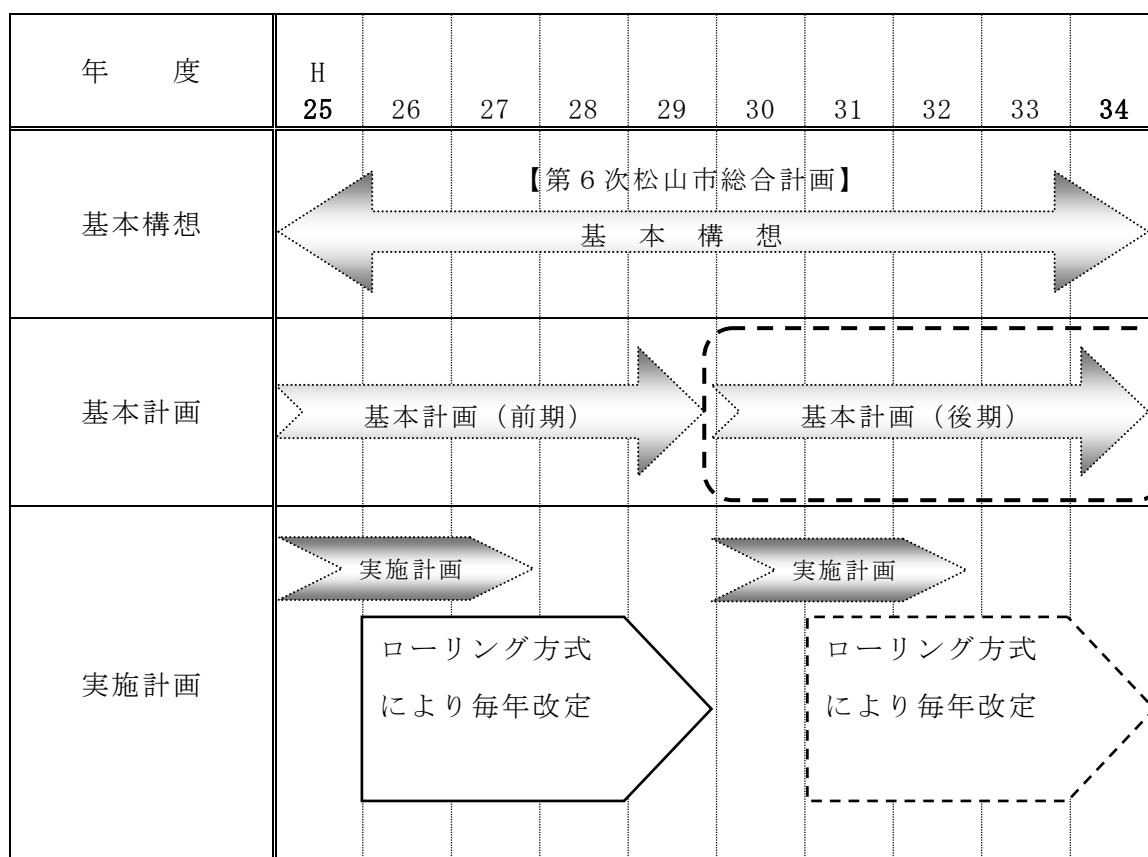
基本目標の達成に向けた政策、施策、取り組みや、笑顔のまちづくりプログラムの具体的内容を掲げるものであり、前期基本計画の体系を踏まえながら改定を行う。

③実施計画 【後期基本計画に基づき改定】

重点的取組事業や主要事業の内容や期間を計画するものであり、毎年見直し(ローリング方式)を実施している。後期基本計画の笑顔のまちづくりプログラムや施策を踏まえた見直しを行う。

4. 計画期間

計画期間の変更なし



5. 推進体制等

【庁内体制】

①第6次松山市総合計画後期基本計画策定会議

- ア. 構成 庁議メンバー
- イ. 役割 後期基本計画の策定に関する総合調整

②第6次松山市総合計画後期基本計画策定プロジェクトチーム

- ア. 構成 副市長と各政策課長等
- イ. 役割 施策内容や指標、重点施策等の見直し
部局間の調整

【庁外体制】

①第6次松山市総合計画（後期基本計画）推進懇話会

- ア. 開催時期 平成29年7～12月頃
- イ. 構成 市民、学識経験者、関係団体役職員 計13名
- ウ. 役割 前期基本計画の進捗や後期基本計画（案）に対する意見

②市民参加

ア. 市民意識調査（平成28年度実施）

- ・調査対象者 市民 2,500人
- ・回収結果 市民 1,356人（回収率54.2%）

イ. パブリックコメント

- ・実施募集 平成30年1～2月頃（※後期基本計画案に対する意見募集）
- ・対象 市民及び市外からの通勤・通学者 年齢制限なし

ウ. グループインタビュー

- ・内容 様々な世代、職業の人から市の魅力や課題、必要な取組について意見をいただき、後期基本計画を検討する際の参考にします。
- ・参加者 高校生、大学生等、市民（2班）の属性毎に5人程度のグループ単位でインタビューを行います。

【市議会】

①策定の方針及びスケジュールをお示しする。

②策定の進捗に合わせ適宜報告、説明し、意見や助言をいただく。

6. 策定スケジュール

①前期基本計画の進捗状況調査

平成 28 年度中に、前期基本計画に掲げる施策の進捗状況のまとめを行う。

②後期基本計画案の策定

平成 29 年度末に策定する。

③実施計画

平成 30 年度からの運用に向け、平成 29 年度中に策定する。

＜策定スケジュール＞

[illegible]